

ハイキュー ～Another Story～

研磨

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

私のためと思ってくれる月島。

いつも笑わせてくれた赤葦。

先輩でも愛おしいと見えてくれる菅原。

私の辛い過去を知ったらどうなるのか？

目次

く私の辛い過去く	1
く烏野バレー部の気持ちく	4
くバレー部の気持ち2く	7
く焦る気持ち with 月島く	10

く私の辛い過去く

今から8年前。私が宮城から転校する日、
貴方は私のために泣いてくれました。
私の幸せが消えたあの日。
貴方を崩れるような泣き顔にしたくない。
ずっと笑っていてほしい。

くらんsideく

高校1年生。春。

今から8年前私は宮城から東京へ親の都合で引っ越した。
東京へ行くと人見知りな私を救ってくれた赤葦と木兎。
2人は私のために笑わせてくれていた。中学3年生までは。
その時まで私はずっと母か虐待を受けていた。
ずっと苦しかった。泣きたかった。だから私は
1人でここにやってきた。
赤葦と木兎には黙ってた。迷惑をかけたくなかった。
最後に書いた手紙を読んでくれただろうか。
あ、またやってしまった。私の悪い癖。
すぐ暗く考える。

今日は東京から宮城に来て久しぶりに学校に行く。

あの時の彼はいるだろうか。

もう7時か。

「行ってきます…。」

ーin学校ー

らん「失礼します。今日からこの学校に編入した及川らんです。」

先生「はい。あなたが及川さんね。貴方の担任のーよ。」

らん「よろしくお願ひします。」

先生「じゃあ教室へ行きましようか。みんなが待ってるわ。」

らん「はい！」

く月島sideく

今日転校生がやってくる。女子らしい。

ま、僕は興味ないケド。でももし、あの時の彼女なら……
ガラガラッ

先生「席つけー。今から転校生を紹介するよー。」

女1「どんな子かなー？可愛い子だといいなー！」

男1「早く紹介して下さいー！」

先生「静かに！……じゃあ紹介するぞ。及川さん入って。
タッタッタ

らん「えーつと……及川らんです。元々宮城県に住んでいて、
今はこつちに帰ってきました。いろんな人と仲良くしたい
です！よろしくお願いします。」ニコッ

え……あの時と変わらない肩につくほど伸びた綺麗な黒髪。
優しい笑顔。まさかあの時の……？

月島「らん……？」

らん「え？」

気づいた時には名前を呼んでいた。

らんside

あの時と変わらない綺麗な黄色い癖っ毛。

白いヘッドホン。間違いない。

らん「久しぶり。月島君。」

先生「知り合いなのか？じゃあ席は月島の隣だな。

月島は、及川さんに色々教えてやってくれー。」

月島「わかりました。」

タッタッタ

らん「よろしくね！」ニコッ

先生「よーし。じゃあ質問タイムなー。

答えづらい質問はしないように！」

月島side

男1「彼氏はいますかー？」

らん「いません！」

女1 「えー！綺麗なのに以外！」

らん 「綺麗って程じゃないよ。でもありがとう！」ニコッ
全員 「(天使か！)」

女2 「じゃあ、部活は!？」

らん 「んー。中学ではバレエ部のマネージャーしてたし、
男バレのマネージャーやろうかな。」

え……：らんがマネージャー？凄い嬉しいんだケド……

山口もさつきから赤くなったり嬉しそうだし……

でも昔から変わらないこの気持ち。絶対譲らない。

く鳥野バレー部の気持ちく

くらんsideく

キーンコーンカーンコーン

らん「んーっ……」

月島「やつと終わったネ」

らん「うん。次は部活？」

月島「うん。もう入部届は出した？」

らん「まだだよ。主将さんにだそうと思つて！」

月島「そっか。じゃあ一緒に行く？場所わかんないでしょ。」

山口「ツツキー!!一緒に部活行く!!」

月島「うるさい山口。」

山口「ごめんツツキー！」

月島「勝手にすれば？(フイツ)」

く月島sideく

月島「勝手にすれば？(フイツ)」

(2人つきりで行けるはずだったのに……)

らん「ありがとう！もちろん山口君もね！」ニコツ

山口・月島「／／／／／(可愛すぎか)」

らん「2人とも？顔赤いけど大丈夫？保健室行く？」

月島「大丈夫。部活行く。(グイツ)」

山口「まっつツツキー！」

in 体育館

?「おい！フライングだぞ！」

?「うっせー！ ボケエ!!」

らん「なんか聞こえてくるよ?」

月島「あー。王様とちびちゃんか笑」

山口「教えてあげるよ。ついてきて！」

らん「うん！行く！月島君！」(手を繋ぐ)

月島「／＼／＼／＼」

山口「おーい！日向ー！影山ー！」

？「どーした山口？」

？「なんかあったのか？」

山口「よし。えーっとねオレンジ色の髪の毛の方が日向。つり目の黒髪ストレートが影山だよ。」

らん「そうなんだ！よろしくね！影山くん！日向君！」

日向・影山「よろしくな。」

月島「さて、紹介済んだとこで澤村さんところ行くよ。」

山口「そろそろ来るもんね！」

日向「その子は？何ていうの？」

月島「この子はらん。詳しいことはあとで紹介する。」

影山「わかった。」

日向「澤村さん、菅さん、旭さん！ちわーっす！！」

月島・影山・山口「ちわっす。」

らん「こんにちは！」

澤村「ちわっす！えーっとこの子は誰だ？」

月島「編入生の及川らんです。マネ希望で来ました。」

澤村「おー。そうか！よろしくな！俺は澤村大地だ。」

おーい！清水ー！」

清水「ん？どうしたの？」

澤村「こいつは清水。マネージャーだ。色々教えて貰ってくれ。」

らん「はい！ありがとうございます！」ニコッ

清水「よろしくね。わからないことはなんでも聞いてね。」

らん「わかりました！」

？「ちわーっす」

日向「田中さん！西谷先輩！ちわーっす！」

西谷「おう！翔陽！ん……？」

田中「どうしたノヤツさ……」

西谷「おい……。あの綺麗な潔子さんの隣の人は誰だ……？」

日向「マネ希望のらんですよ！」

西谷「龍。言いたいことはわかるな？」

田中「おうよ。ノヤツさん。」

ダダダ（パシツ）手を覆う

らん「えっ？」

西谷・田中「潔子さんと同じく綺麗だな！これから部活にはいつ
……」

清水「うるさい。静かにして。」

西谷・田中「はい……」

大地「とりあえず自己紹介からするか……」

n e x t ↓

くバレー部の気持ち2く

くらんsideく

大地「1年から名前とポジション言っつけてけー！」

1年「オスっ！／っす！」

日向「日向翔陽だ！ポジションはMB！よろしくな！」

月島「ちびなのにな〜笑」

日向「うるさい！」

大地「はいはい次！」

影山「俺は影山飛雄だ。ポジションはセッター。よろしく。」

山口「僕は山口忠。ポジションはMB。よろしくね！」

月島「僕は月島萤。ポジションはMB。よろしく。」

大地「次は2年！」

田中「俺は田中龍之介！WSな！よろしくな！らん！」

西谷「俺は西谷夕。烏野の守護神のリベロだ！よろしくな！」

縁下「俺は縁下力。WSだ。よろしく。」

木下「俺は木下久志だ。WS。よろしくな！」

成田「俺は成田和仁。MBだ。よろしく。」

大地「次3年！」

清水「清水潔子よ。マネージャーだからわからないことは聞いてね。よろしく。」

東峰「俺は東峰旭だ。ポジションはWSだ。よ、よろしく。」

大地「弱々しいな。ヒゲチョコは。烏野のエースなのに。」

東峰「仕方ないだろ！」

菅原「俺は菅原孝支。セッターだべ。よろしくな！ちなみに副主将！」

大地「最後は俺。澤村大地だ。ポジションはWSだ。よろしく。この部の主将だ。次は自己紹介よろしく。」

らん「はい！及川らんです！出来ることはできる限りしますのでよろしくお願いします！中学校ではマネージャーをやりつつポジションはMBでした！もし相手が必要なら私にも是非相手をさせてくだ

さい!

よろしくお願いします!」

西谷「綺麗な上にバレーまで……」

田中「全力で守るぞノヤツさん……」

大地「さて、今日はとりあえず清水と一緒に仕事をしてみてくれ。」

らん「はい!わかりました!」

大地「じゃあアップしに行くぞ!」

全員「オスっ!／っす!」

くしばらくして休憩時間く

清水「凄いね!ちゃんと作れてるし、らんちゃんせつかくだから

みんなの所にスポドリ持ってってあげて?私はタオル持つてくか

ら。」

らん「わかりました!」

く月島sideく

月島「暑っつ……」

山口「そうだねツツキ。やっと休憩だね。」

月島「早く休もう……」

ドサツ(腰掛ける)

西谷「らんー!スポドリくれ!」

らん「はい!どぞ!」

西谷「さんきゅー!ゴクツ うまい!ちゃんと作れてんな!凄い

ぞ!

ナデナデ」

らん「ありがとうございます!でもほかの人にも配って来るのでそ

ろそろいいですか?」

西谷「おう!」

いいな……。僕もらんをなでたい……

らん「月島君!どぞ!」ニコツ

月島「ん。ありがとネ。」

らん「菅さん!どぞ!」ニコツ

菅原「さんきゅー!ゴクツゴクツ 上手いな!」ギュー

全員「!？」

next ↓

く焦る気持ち With 月島く

く月島 side く

菅原 「さんきゅー！ゴクツゴクツ上手いな！」ギューツ
全員 「!？」

月島 「菅さん。何してるんですか。」

菅原 「何って。ハグだよ。見りやわかるべく？」

らん 「あわわわ……／／／／／」

月島 「らんが壊れるんで離してください。」

菅原 「あー。笑ごめんなー。笑」

らん 「ボンツ」

清水 「あ！らんちゃん！大丈夫!？」

月島 「僕が保健室連れてきます。」

大地 「おう。頼む。」

菅原 「俺も行こうk「いや、いいです。」

月島 「それじゃ。よいしよつ……と」テクテクテク

in 保健室

らん 「んっ……」

月島 「起きた？」

らん 「うん。ってなんでお姫様抱っこしてるの!？」

月島 「こう持つしかなくて。嫌？」

らん 「そんなことないけど……／／／／／」

月島 「とりあえず下ろすよ？」

らん 「うん。ありがとう。」ギシッ

月島 「さっきの嬉しかった？」

らん 「え？」

月島 「だから。菅さんに抱きつかれたの。」

らん 「嬉しいっていうかびっくりした。」

月島 「そつか。じゃあさ、僕もしたいことしていい?」

らん 「ん? いいよ? 何すればいい……」ギューツ

月島「少しこのままでいさせて。」

らん「う……ん／＼／＼／＼」

2人「……………／＼／＼／＼」

らん「もう……いい？」

月島「うん。ありがとネ」

らん「もう戻ろつか。」

月島「もう大丈夫なの？」

らん「うん。大丈夫。」

月島「じゃあ行くよ。」グイッ

らん「／＼／＼／＼」

in 体育館

月島「今戻りました。」

大地「おう。今日はもう終わりだしな。」

月島「明日はちゃんと参加します。」

大地「わかった。集合ー！ー！」

しばらくして

月島「らん。帰るよ。」

らん「え？いいの？」

月島「気づいてなかったの？トラック来て、引越しか。って思ってたら隣、らんの家だったんだケド。」

らん「そうなんだ！じゃあ一緒に帰れるね！」

山口「ツツキー！帰ろー！」

月島「うるさい。山口。」

山口「ごめんツツキー！」

2人かもって思ったんだケド……

in 帰り道

山口「じゃあ！今日こっち行くから！」

月島「嶋田さんどこ？」

山口「うん！じゃあね！」

らん「バイバイ！」ニコッ

月島「じゃあね」

テクテクテク

月島「あのさ、明日から一緒に学校行かない？」

らん「え？いいの？」

月島「いいよ。家隣だし。」

らん「うん！ありがとう！」ニコッ

月島「うん。(可愛すぎ／＼／＼／＼)」

らん「大丈夫？なんかあった？」

月島「大丈夫！」

らん「そういえば月島君は好きな人とかいるの？」

月島「!? どうしたのいきなり……」

らん「聞いてみたくてさ。いる？」

月島「いるよ。らんは？」

らん「私はない。」

月島「そっか。もうついたな。んじや。また明日」

らん「また明日ー！」